

議事	分類	意見等	対応の方向性			
第4回協議会(8/7)	大田区交通政策基本計画(素案)について	第1章計画策定にあたって	・「策定の背景と目的」で、2020年のオリンピック・パラリンピックを契機としてこの計画をつくらなければならないという趣意が違っているのではないか。 ・28ページ「超高齢社会、都市間競争の激化などが進む中」と書かれているが、むしろこういことが求められているから今回のこの計画を策定するということが、区民の皆さんが見ても、妥当性があるのではないかと。	・28ページの記述を参考に、1ページを修正した。		
		第4章計画の基本的な考え方	大田区の交通の理念 交通の将来像	・方向性を示す文章を示した。 ・32ページの鉄道系や道路系という凡例に、該当する路線名を追加した。 ・新空港線も緑交通の図に追加した。 ・「羽田空港と世界が繋がっている」矢印を追加した。		
	第5章施策展開「基本方針」	基本方針	・「サステナビリティ」や「持続可能性」は、非常に重要な概念で、一過性の言葉ではなく定着して使われようとしている。 ・計画の中に入っていないのであれば、「持続可能性」のような言葉をどこかに加えたいほうがよいのではないか。	・目標の「環境」の説明に、「持続可能な」を追加した。		
		第5章施策展開「施策内容」	(P47)「暮1.1.2大森地区・臨海部間の交通の充実」 (P50-P51)公共交通の機能向上(UDタクシーについて) (P83)「活3.2.1臨海部へのアクセス向上」 外環について	・大森からは、臨海部だけではなく羽田へのアクセスについても改善が出来るのではないか。 ・UDタクシーについて、現在の導入状況や今後どのように増やしていくのかなどについて、もし何か分れば教えて欲しい。 ・UDタクシーについては、乗り場についてはまだ整備されていない。駅や空港などの乗り場は、乗り場が分かれているということもある。空港を控える大田区としては検討してほしい。 ・「東海道貨物支線貨客併用化整備」を「羽田空港アクセス線」よりも先に持ってきた理由は何か。 ・「臨海部へのアクセス向上」は、「区内の移動としてのアクセス線」のように読める。しかし、「東海道貨物」にしろ、JRのものにしろ、臨海部をそのまま通るようなルートなので、「アクセス向上」というのは少しか。 ・「東西方向の交通の充実」に「新空港線の整備を促進する」と書いてあるが、「新空港線」も「臨海部へのアクセス向上」にも機能すると思う。このあたりの書き分けについて、調整が必要ではないか。 ・外環についてどうするのか入っていない。(再掲) ・外環の話、根幹的な道路の将来像のようなものはどこかに出てきますか？ ・32ページで新空港線は鉄道系プラス道路系と書いてあるの、この道路系はそういう意味かなと理解は可能ですが、ほかどこかに出てくることはありますか？	・臨海部だけではなく羽田へのアクセスについて、暮1.1.2などに表現を追加した。 ・UDタクシーについて記述を追加した。 ・熱度の違いを踏まえ、「新空港線」も合わせて表現を修正した。 ・「活3.2.1臨海部へのアクセス向上」と「活3.2.3東西方向の交通の充実」について、「新空港線」の扱いも含めて書き方を調整した。 ・外環について、施策での記述を修正した。	
	第5章施策展開「リーディングプロジェクト」	(P112)リーディングプロジェクトの選定	・(P112)リーディングプロジェクトについて、線がすんなりと右に行っているが、テーマによってはいろいろなところに関わっているのではないかと。	・リーディングプロジェクトの選定の図の表現を修正した。		
		(P113~P114)リーディングプロジェクト全体	・リーディングプロジェクトについては、もう少し分かりやすくするために工夫が必要。(図面を追加するなど) ・リーディングプロジェクトでは、今までの取り組みに比べて、特に何を重点的に行うのか、どのように連携して進めるのか、今までの連携と違いどのような連携を進めるのか、何か特色を示す必要がある。 (P114)「災害に強いまちづくりを進めます(踏切の解消)」について	・リーディングプロジェクトの整理に当たり、左記の意見を踏まえ、できるだけわかりやすくなるように工夫する。 ・踏切について、リーディングプロジェクトの記載を修正した。		
	第2回区民アンケート調査の計画案について	アンケート票	回答者属性	・問1から問3まで、性別、年齢、ご職業を聞いているので、その後、住んでいる地域について聞ける項目を追加したほうがよいのではないか。	・住んでいる地域を聞く設問を追加した。	
		アンケート票全体	・アンケート票については、文字が多いので工夫が必要。 (調査票の中で文字を少し減らして、一方で参考資料の方と対照しやすいデザインで作っておくなど) ・少子化や高齢化の数字を盛り込んでいただけないか。 ・幅広い意見をいただく方がよいので、自由回答欄はできるだけ広めにとったほうがよい。	・アンケート票が見やすくなるように工夫した。		
	今後のスケジュールについて	区民説明会	・区民説明会は、どれほど関心を持ってもらえるか分からないが、ぜひ開催してほしい。 ・どこか1か所だけで説明会をやったからいらないというものは多い。	・区民説明会について、左記の意見を踏まえ開催の回数と場所を増やした。		
	第5回推進有識者会(10/13)	第2回区民アンケート結果	アンケート結果	施策の方向性	・特にこちらから提示した施策の方向性に対して、回答者に高齢者層が多く実際の母集団との違いがあるのを、拡大係数をかけて補正し、そのまま算出した結果と比べて確認しておいたほうが良い。	・そのまま算出した結果と補正した結果を確認した。
			取り組むべきでない理由の扱い	・「取り組むべきでない理由」については、回答数が多いと感じるのであれば、区の方から見解として「それでもやはり必要だと思っています」など、多少説明があってもよいと思う。 ・しかし、この結果とが5票という少さなので、ほかの方々には基本的には取り組むべきだという方向で答えられているということ。	・「取り組むべきでない理由」をもとにした、計画への説明の追加は、特に行わない。	
			クロス集計について	・アンケート結果はクロス集計が必要。 ・「平均が少し超えている。超えていない」は、誤差の範囲という可能性もあるので、少し慎重に見た方がよい。	・クロス集計を行った。 ・結果は慎重に見るように留意する。	
大田区交通政策基本計画(素案)について		第1章計画策定にあたって	(P1)計画策定の背景と目的	・ライフスタイルや生活に関わる内容を追加したほうが良いのではないか。 (後ろに出てくるので、意識したほうが良い)	・ライフスタイルや生活に関わる記述として、「幼児期から高齢期までのライフステージに応じて安心かつ健康に暮らせるまちづくりのために」を追加した。	
		第5章施策展開	(P45~)施策の内容 (P111)リーディングプロジェクト	・「再掲」について、二回目に出てきた「再掲」とあるのは分かるが、一回目に「再掲」とあって、後ろに出てくるものに「再掲」とあるものがある。簡単に意図が伝わらない。 ・今、結果的に出ているリーディングプロジェクトは、部局横断でなくてもできそうなものが多い。 ・例えば福祉の話が入ってきた時に、都市整備などと組み合わせると進まないようなものもある。時間がかかるのでリーディングプロジェクトで先にやるというのは難しいかもしれないが、そういうものがこの選び方だと落ちてしまう。 ・意見を聞くとしても、即効性の高いものやべきだ、という回答が高くなるので条件の作り方が難しいが、そうではないリーディングプロジェクトも一概に悪いとは思っていない。 ・結果的に選ばれたものを見ると、結局はこれまでの交通計画と変わらない。「活力」も結局は整備系、というような話になっている。そもそも選択肢としてそういうものしか挙がっていない。 ・例えば子ども家庭部、福祉部、観光・国際都市部が連携して何かやるとか。今までにない、都市基盤部のまちづくりと違う観点の、しかしモビリティや交通に関わる新しい施策ができたら面白い。 ・折角こういう基本計画を全体でやるというのだから、インフラ系、土木系、交通系以外のところから、事務局が音頭を取ってやっていただく項目も、そういうものを是非は懸念していたが、そこはアイデアがないとできない。 ・例えば子育て世代に対する総合的な支援をやるなど。 ・ここで言うリーディングプロジェクトは、具体的に何がどう変わるのか区民に見えない。議論で出てきた言葉でしかない。もう少し検討してもよいのではないか。 ・無電柱化という話が出たのでそれに関して言うと、例えば無電柱化推進計画を来年度中に作る、ということであれば、具体化した個別の対応に一度進むのではないかと。 ・職員がなくてもやっているところはあるので、そこはプライオリティの高さ次第。 ・研究、技術開発、地場産業との連携など、これから開発したいというアクションそのものを、リーディングプロジェクトのひとつに位置付けて欲しいという気持ちはある。 ・行政だけで進めて行くのは難しいが、大学と連携してやることを前提とすれば、大学側からボランティア的な働きも出てくる。そういうリーディングプロジェクトを加えることは不可能ではない。 ・部局横断的にやる姿を見せて欲しいというのは、我々全員、有識者会としての総意。ただし、できないことを書いてもできない、というのもある。 ・子育ての支援、高齢者の福祉や、子ども家庭部と福祉部など、全然ちがうけれど何らかモビリティに関わることもあるので、連携の形態を取ったらこんな風に見られるというものがあれば入れておいたらどうか。 ・リーディングプロジェクトがこの三つでは厳しい、というのもまた総意。 ・ルール・マナーを守っていない一部は子育て世帯とか子どもなので、そこに対する巻き込み、啓発などに関わって欲しいとありがたい。インフラ部隊だけで教育までやれというのはなかなかできないので。	・「再掲」の考え方について、45ページに注を追加した。	
第6章本計画の推進に向けて		(P119)PDCAマネジメントによる計画の推進	・PDCAのどこを数値化をしてもいいとわかりやすい。今回はこうやって作ってきた、今後こうやって見直しをしていきます、というのが分かるような数値化をしてください。 ・モニタリング指標について、例えば鉄道駅の乗降客数は色々な計画のKPIに入るが、これの多い少ないで施策が成功したとは必ずしも言えない。一回精査したほうが良いのではないか。	・PDCAサイクルの模式図を追加した。 ・モニタリング指標については、精査した。		
区民説明会の開催概要		周知方法について	・説明会の周知はどのような方法で行うのか？ポスターを作って庁舎に貼ったらどうか。	・周知用ポスターを作成、掲示した。		